

| 特許   | 登録日<br>登録番号          | 発明等の名称                            | 出願日<br>出願番号              | (上段) 共有会社   |
|--|----------------------|-----------------------------------|--------------------------|---|
|  |                      |                                   |                          | (下段) 当社発明者 (出願時)  |
| <b>概要</b>  |                      |                                   |                          |   |
| 特許   | H25.8.9<br>5335516   | ワンマン操作用セパレート型ドア開閉スイッチ             | H21.3.27<br>2009-078355  | (公財) 鉄道総合技術研究所<br>(安研) 杉本 守久                                      |
| 運転士のドアスイッチの誤扱い防止のため、ワンマン列車用ドア開閉スイッチを右側は右手で、左側は左手で扱う構造としホームの無い側のドアの開扉を防止する為の開発を行った。   |                      |                                   |                          |   |
| 特許   | H25.8.16<br>5339805  | 吹き付け装置及び<br>コンクリート用補修材の<br>吹き付け工法 | H20.7.17<br>2008-185532  | BASEジャパン(株)<br>(技) 丸山 直樹、坂本 保彦                                    |
| この発明において装置本体部を分離することにより、作業員が吹き付け作業時に保持する必要がある部位を1kg以下に収めることができ、長時間の作業においても作業性が低下せず、的確な部位への熟練を要しなくなった。  |                      |                                   |                          |   |
| 特許   | H25.8.16<br>5339344  | リクライニング機能<br>付き椅子                 | H20.10.10<br>2008-264444 | コイト電工(株)<br>(車) 吉村 慎一郎、中山 耕介                                      |
| 座席のリクライニング時における背もたれの後方突出量を少なく抑えつつ、背もたれを後側に連動して座席が後方に変位するとともに円周方向への座席の変動によるリクライニング復帰動作が容易なリクライニング機構付き座席を開発した。   |                      |                                   |                          |   |
| 特許   | H25.8.23<br>5346544  | 電車線用碍子                            | H20.10.24<br>2008-273769 | (株) 日本ネットワークサポート<br>(技) 松原 貴治                                     |
| 電車線用碍子の発明により、汚損及び湿潤による絶縁低下を有効に抑制することができ、優れた耐久性、機械的強度及び作業性を有している。また、シリコンコンパウンド塗布を省略することができ、コスト面、環境面等にも優れた碍子を開発した。   |                      |                                   |                          |   |
| 特許   | H25.9.27<br>5374241  | 自動改札機                             | H21.6.8<br>2009-137441   | (株) JR西日本テクシア<br>(施) 栗山 宙之  |
| 自動改札機は駅の改札口に設置され、利用者の通行を許可または禁止する処理を行なう装置である。6歳未満の幼児及び乳児は当社の営業制度上、無料となっているため、従来の自動改札機では身長検出手段を用いて検出していた、しかし、大人がしゃがみ込んだ状態で自動改札機を通過できてしまうという問題があった。そこで、身長検出機能に加えて、通過時間を検知する機能を付加し、不正乗車を防止する自動改札機を開発した。 |                      |                                   |                          |   |
| 特許   | H25.10.4<br>5380000  | トロッコ線磨耗量測定方法<br>および測定システム         | H20.5.13<br>2008-125787  | (株) 日立ハイテクノロジーズ<br>(技) 八野 英美、川崎 慎治                                |
| レーザー式磨耗測定装置のトロッコ線摺面の反射信号を従来よりも暗いレベルでも検出できる処理を行い偏磨耗箇所の磨耗データを算出する、また反射信号が検出できないような偏磨耗箇所についても前後関係から偏磨耗摺面の想定ラインを算出し偏磨耗箇所の磨耗データを算出できる技術を開発した。   |                      |                                   |                          |   |
| 特許   | H25.10.11<br>5383445 | 開き戸用錠装置                           | H21.11.18<br>2009-262434 | 川崎重工業(株)<br>(車) 林 太郎  |
| 鉄道車両の前面貫通開き戸等に使用される開き戸用錠装置はロック状態であるかどうかの確認は、実際に錠に触れ、回転するか否かを調べる必要があり、手間を要している。掛金ロック状態であるか否かを表示板を見ることで、目視による確認ができるようにし、鍵の誤挿入を防止することができる装置を開発した。   |                      |                                   |                          |   |
| 特許   | H25.11.1<br>5397767  | 構造物劣化監視方法および<br>構造物劣化監視システム       | H21.12.10<br>2009-280053 | ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)、住友電工スチールワイヤー(株)<br>(幹管) 村田 一郎、(構技) 大坪 正行、柏原 茂 |
| 山陽新幹線の劣化が進行しているPC桁対策として縮尺モデルの供試体で、載荷実験を行い、検知システムの有効性を確認し計算により、実橋におけるPCケーブル破断のシミュレーションを行い検知システムの有効性を確認するために開発を行った。  |                      |                                   |                          |   |
| 特許   | H25.11.8<br>5405356  | 排水材を用いた<br>斜面安定化工法                | H22.3.3<br>2010-046337   | (公財) 鉄道総合技術研究所、五洋建設(株)<br>(構技) 深田 隆弘、泉並 良二、森 泰樹                   |
| 盛土や切土などの安定を向上させ、斜面災害を防止する為、斜面をボーリングマシンで削孔し、削孔内に鉄筋その他の補強材を設置した上で透水性多孔質の材料からなる排水材を形成することで斜面を補強するとともに斜面内の地下水を低下させ、斜面の安定を図ることを目的として開発した。   |                      |                                   |                          |   |